

「地域とともにある学校」への転換に向けた学校運営協議会の推進 【豊後大野市:三重中校区の取組】

【第1回「三重町の子どもを育てる会」あり方検討委員会】 令和5年 6月 9日(金)

〔参加〕各学校(三重町内小学校5校、中学校1校)の学校運営協議会委員(地域代表)各2~3名、校長

◆内容:研修会「コミュニティ・スクールってなに?」

講師:大分県教育庁 社会教育課

学校・家庭・地域協働推進班 野崎大輔 指導主事



大切なことは「どのような子どもを育てたいのか」をともに考え議論すること。「何のために活動するのか」を共有することで、「お願い」と「頼まれごとへの支援」といった貸し借りの関係ではなく、学校・家庭・地域の「協働」につながります。

【合同研修会での質疑・意見交換の一部】

Q1:自分がすんでいる地区は高齢化が進み、地区には、自分の子どもしかいない状況にあり、地区自体が学校への関心が薄くなっている。このような地区での取組は、どのようにすればよいか

A1:県内にある1つの例として、日田市立大山中学校が地域の方に図書館を開放して、学校に関心を持ってもらおうとしている取組がある。まずは、双方が負担を感じない程度で学校に興味や関心をもってもらえるような取組からスタートしてみてもいい。

Q2:学校公開日やCSの取組などを地区の回覧板などで積極的に回してはどうか。

A2:とてもよい取組だと思う。それを学校が主体でなく、地域の方が主体者となって、役割を担ってもらえるとよりよい取組につながっていくと思われる。

【第2回「三重町の子どもを育てる会」あり方検討委員会】

令和5年 7月 7日(金)

〔参加〕各学校(三重町内小学校5校、中学校1校)の学校運営協議会委員(地域代表)各2~3名

◆内容:ワークショップ

①どのような子どもに育てたいか

②地域が学校に望むことは

③CS委員の悩みは

グループに分かれ、左の内容についてふせんに書きだし、KJ法でまとめて発表しました。



【地域が学校に望むこと】

- ・学校の良さを大切に(強みを伸ばす)
- ・地域と交わる、出会う(子どもが地域に出向く、先生方も気軽に)
- ・地域を頼ってほしい(先生方との交流、困りごとを何でも、一緒に何かしたい)
- ・情報発信(立ち寄りやすい学校、子どものことを共有する場、行事、案内等)
- ・豊かな体験の継承と創造(学校が楽しい場所に)
- ・職員の笑顔 等

【CS委員の悩みは】

- ・何をを目指すのか、自分の役割の理解
- ・もっと議論が必要では
- ・先進地を知りたい
- ・仲間が少ない、後継者がいない
- ・もっと多くの人に関わる仕組みづくりが必要
- ・時間的に忙しい 等

「地域とともにある学校」への転換に向けた学校運営協議会の推進 【豊後大野市:三重中校区の取組】

【第3回「三重町の子どもを育てる会」あり方検討委員会】

令和5年 8月 4日(金)

[参加]各学校(三重町内小学校5校、中学校1校)の学校運営協議会委員(地域代表)各2~3名、PTA代表各1名、教務主任各1名

◆内容:ワークショップ

- ①学校が地域に期待すること
- ②どんな子どもに育てほしいか
- ③CSの活動として取り組んでいきたいこと

【学校が地域に期待すること】

- ・環境整備
- ・登下校の見守り
- ・学習支援
- ・読み聞かせ
- ・ゲストティーチャー
- ・放課後チャレンジ教室
- ・地域と連携した行事
- ・地域人材のコーディネーター
- ・部活動指導
- ・清掃指導
- 等

地域に期待することは、環境整備や登下校の見守りなどです。まずは、子どもの「安心・安全」をみんなで守っていききたい！



ゲストティーチャーなどの人材探しを地域の方が担ってくれと助かります。

保護者の中の人材発掘のためのいい手立てはないかなあ。得意なことを保護者自己紹介カードに書くとか...

郷土愛をもつ子どもに育てたい。そのためには村おこしとコラボして何かできないかな。



無理なく、できる人が、できるときに、できることをするようなシステムになるといいな。

学校の中に、地域や保護者が自然に出入りできるような「CSルーム」みたいな場所があるのもいいのではという意見も出ました。



各グループから出された意見のポイント

①学校が地域に期待すること

- ★子どもが地域の人と顔見知りになる活動
- ★アフターコロナ、小中一貫教育校を見据えた取組、組織の見直しのチャンス

②どんな子どもに育てほしいか

- ★地域、学校、保護者が同じ方向を向いていることが大事
- ★学びのサポートや体験活動を通して、子どもに生きる力を育む一助になりたい

③CSの活動として取り組んでいきたいこと

- ★子どもは大人を見て育つ！地域の大人が、親が、率先して動く姿を見せたい
- ★体験活動を通して、地域と子どものコミュニケーションを育んでいきたい
- ★学校内にいつでも地域の方や保護者がいるのが自然の状態にしたい(子どもに寄り添う役)

【三重町6校の教育目標】

『ふるさとを愛し 心身ともにたくましく 未来を切り拓く力を持った 子どもの育成』